

シンポジウム 「医療機関のための新型インフルエンザ対策」

－ 第2波流行および強毒型ウィルスへの準備

会期: 2009年10月11日(日)10:00~16:30 入場開始 9:00
会場: 東京大学医学部2号館本館3階大講堂 → 東京大学法文1号館25番講堂 (定数オーバーのため会場変更)
東京都文京区本郷7-3-1 (地下鉄丸の内線ないし都営大江戸線本郷三丁目駅下車・徒歩10分)
主催: 日本予防医学リスクマネジメント学会 共催: 東京大学医師会
後援: 国際予防医学リスクマネジメント連盟、他

受講対象者: 学会員、医療従事者、医療衛生行政担当者、その他
日本医師会生涯教育講座 (5単位)

プログラム

- 午前10時~午前10時30分 高原性鳥インフルエンザH5N1の現状と課題
吉川 泰弘 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
- 午前10時30分~午前11時30分 新型インフルエンザ2009に対するWHOの活動概要と国内外でのワクチン開発について
(座長) 松島 綱治 (東京大学大学院医学系研究科分子予防医学教室教授)
田代 真人 (国立感染症研究所・インフルエンザ研究センター・センター長)
- 午後1時~1時45分 新型インフルエンザ2009の取り組みについて (仮)
岡部 信彦 (国立感染症研究所 感染症情報センター長)
- 午後1時45分~4時30分 シンポジウム 「新型インフルエンザに対する医療のあり方」
(座長) 前川 和彦 (東京大学名誉教授、公立学校共済組合関東中央病院病院長)
四柳 宏 (東京大学医学部感染症内科准教授)
- 午後1時45分~2時30分 新型インフルエンザ2009に対する当院での事例を踏まえて
林 三千雄 (神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科、感染症科、ICT医長)
- 午後2時30分~3時10分 日本医師会の新型インフルエンザへの取り組み
飯沼 雅朗 (日本医師会常任理事、感染症危機管理対策担当)
- 午後3時10分~3時40分 保健所を含む地域連携のあり方
大井 洋 (東京都感染症対策課長)
- 午後3時40分~4時 企業内産業医の立場から
浜口 伝博 (共同通信社 産業医)

参加申込締め切り: 2009年9月25日
定数(700名)になり次第、登録受付を閉め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

担当事務局

日本予防医学リスクマネジメント学会本部
第1オフィス

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102
(Tel/Fax) 03-3817-6770
(電子メール) jsrmpm-office@umin.net

セミナーホームページ: <http://www.jsrmpm.org/Inf2009/>